進路だより

秋田県立秋田きらり支援学校
第３号
平成２９年７月２１日発行

中学部１組作業学習について～作業強調週間

中学部１組では、将来働くための基本的な力を育むことをねらいとして、作業学習を行っています。生徒たちは、自分が希望する工程を担当し、廃油処理パック「油グッバイ」を製作しました。普段の作業学習は月曜日と水曜日ですが、６／１２（月）～６／１４（水）に実施した作業強調週間では、材料や道具の使い方、挨拶や返事、報告や依頼の仕方などをしっかりと覚えるために、１日を通しての作業に取り組みました。生徒からは「すごく疲れたあ」という声もありましたが、上達したことを実感して出来高が増えたことを喜び、３日間をやりきった自信に満ちた表情をしていました。今回製作した２２個の油グッバイは、上北手にあるＪＡ直売所「いぶきの里」に納品しました。かがやきの丘祭りでも販売する予定です。生徒たちが頑張って製作した油グッバイを、ぜひご利用ください。

ミキサーがけ

パルプちぎり

袋詰め

＜作業製品「油グッバイ」の紹介＞

油グッバイとは、牛乳パックをリサイクルして作ったエコ商品です。揚げ物の後、鍋やフライパンに残った廃油を処理するためのパックです。

【作り方】
①牛乳パックを解体して、約１時間煮込みます。ラミネート（両面）をはがし、パルプを取り出します。
②パルプ３枚と水５００ｃｃを入れて、３０秒間ミキサーにかけます。
③泥状のパルプ液を絞った後、約１ｃｍ四方のサイズにちぎり、乾燥させます。
④乾燥したパルプをミキサーにかけて、線状のパルプを作ります。その後、１５ｇ計量してお茶パックに詰めます。
⑤５個１セットに揃えて包装します。　**※１セット５０円で販売**

【使用方法】①油を十分に冷まします。　②油の中に、油グッバイをいれます。
③油を吸い取ったら、可燃ゴミとして捨てて下さい。
【使用上の注意】１パックで吸い取る量は、約１５０ｃｃです。可燃物のため、火の側に置かないで下さい。

★裏面には学部ごとの記事が連載されています★
小学部は「生活リズム」や「入浴サービス」について、**中学部は「脳性まひの生徒が一般就労したケース」**について、**高等部は「現場実習評価票の活用」**についてです。他の学部の記事が見たい方は差し上げますので、学級担任までお知らせ下さい。ホームページ、学校の進路コーナーの掲示でも御覧いただけます。

第１６回　秋田県障害者技能競技大会が行われました

７月１２日（水）「エリアなかいち」にある秋田市にぎわい交流館 AU（あう）で開催されました。本校からは高等部３年生４名が出場しました。開会式では関本玲奈さんが選手宣誓を務め、選手の闘志を高めてくれました。

４名ともワープロ部門に出場し、ワードを使って３０分の課題を２回行いました。結果は石岡奈々さんが３位入賞を果たしました。「テキストをすべて入力する」「勉強したことを確実に実践する」等、全員が自分の目標を達成することができました。聴覚支援学校の専攻科の皆さんとも合同学習を２回行い、お互いに力を高めることができたのもうれしいことでした。

競技の様子です

聴覚支援学校専攻科の皆さんと 6/16・7/7 の合同学習の様子です。

３位に入賞した石岡奈々さん。おめでとうございます。

進路だより～中学部コーナー～

Q&A

このコーナーでは、昨年度末に実施した「進路アンケート」において、中学部生保護者の皆様から寄せられた質問に、Ｑ＆Ａ形式でお答えします。

Q 「脳性まひの生徒が、一般就労した例を教えてほしい」

Ａさん（平成２２年度卒）　秋田赤十字病院に就職。

Ｂさん（平成２２年度卒）　生涯学習センター勤務を経て、現在、秋田銀行に就職。

Ｃさん（平成２２年度卒）　秋田銀行勤務を経て、現在、就職活動中。

※３名とも、高等部卒業後に進学等を経て就職しています。

◇一般就労にかかわる関係機関について

①ハローワーク（県内１１カ所）
- 求職者の求職登録、企業の求人票を受け付け、就労を支援します。

②障害者就業・生活支援センター（県内６カ所）
- 就業及びそれに伴う日常生活上の支援を必要とする障害のある人に対し、職業準備訓練の斡旋や、就業に関する指導・助言・相談を行います。

③秋田障害者職業センター
- 障害のある求職者への職業評価、職業準備訓練、事業者への助言、援助やジョブコーチ支援を行います。

「進路のてびき」２０ページに「学校から就労までの流れ」が、２１ページに「就労のための支援と関係機関」が詳しく載っています。ぜひ御覧ください。